

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391500176
事業所名	グループホーム悠々

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）  地域の方との交流については、ホーム建物が法人本部でもあるため、事業所全体で取り組んでいる。地域の祭事にホームも協力したり、建物1階にある交流スペースを地域の方に活用してもらい取り組みが継続されている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）  会議の際には、代表者に福祉施策や今後の計画等に関する説明が行われていることもあり、出席者にホームを取り巻く状況を理解してもらい取り組みにつながっている。その上で、併設事業所と合わせて現状を報告しており、意見交換等につなげている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）  市の関係機関とは法人全体で取り組んでおり、代表者をはじめ行政機関の福祉施策への協力が行われている。また、研修会への講師等を通じた取り組みや事業所の連絡会を通じた情報交換等が行われている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）  ホームで開催される行事の際には家族にも案内を行い、交流の機会をつくっている。建物内に法人本部があるため、随時の家族からの要望等の把握が行われている。また、ホーム便りとして、毎月の行事カレンダーと担当職員が作成する便りを発行している。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	-	-	-	○	○	○	○	○			